

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2000-169011(P2000-169011A)

【公開日】平成12年6月20日(2000.6.20)

【出願番号】特願平10-340338

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 23/26

B 6 5 H 20/02

【F I】

B 6 5 H 23/26

B 6 5 H 20/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月25日(2004.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像記録坦体の非画像領域である両側部を使用して前記画像記録坦体を搬送する搬送系と、

湾曲する搬送路上に配置され、前記搬送系を介して搬送される前記画像記録坦体の略中央部に接触し、該画像記録坦体を前記湾曲する搬送路に沿って案内するガイド手段と、を備えることを特徴とする画像記録坦体用搬送装置。

【請求項2】

請求項1記載の装置において、前記ガイド手段は、外周に緩衝材が設けられた回転可能なローラを備えることを特徴とする画像記録坦体用搬送装置。

【請求項3】

請求項2記載の装置において、前記ローラは、前記画像記録坦体の前記両側部を挟持して搬送するローラ対を構成する一方の軸に回転可能に装着されることを特徴とする画像記録坦体用搬送装置。

【請求項4】

請求項1記載の装置において、前記画像記録坦体は、蓄積性蛍光体シートであることを特徴とする画像記録坦体用搬送装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る画像記録坦体用搬送装置では、画像記録坦体をその両側部を使用して湾曲する搬送路上に搬送する際、前記画像記録坦体の略中央部にガイド手段が接触し、該画像記録坦体を前記湾曲する搬送路上に沿って案内している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 3 】

【発明の効果】

本発明に係る画像記録担体用搬送装置では、画像記録担体をその両側部を使用して搬送する際、湾曲する搬送路上に、前記画像記録担体の略中央部に接触して前記画像記録担体を案内するガイド手段が設けられている。このため、画像記録担体が湾曲する搬送路上に搬送される際、搬送系によって支持されていない中央部分に膨らみが発生することを確実に阻止し、前記画像記録担体を容易かつ円滑に湾曲搬送路上に沿って搬送することができる。